



海の京都

森の京都

お茶の京都

葉加瀬太郎さん×森山良子さんのコラボで

組曲「もうひとつの京都」ヴォーカルバージョンが出来ました！

～11月10日、「海の京都・ミュージック・フェスティバル」で奇跡のステージが実現～



平成27年7月27日
京都府広報センター
075-414-4120

京都府では、昨年11月から「もうひとつの京都、行こう。」キャンペーンを実施し、世界的ヴァイオリニスト・葉加瀬太郎さん^{はかせたろう}作曲による組曲「もうひとつの京都」による「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」の広報プロモーションを行っています。

この度、組曲「もうひとつの京都」のヴォーカルバージョンが、森山良子さん^{もりやまりようこ}の歌と松井五郎さん^{まついごろう}の作詞により完成し、8月5日発売の葉加瀬太郎さんデビュー25周年記念アルバム「DELUXE」～Best Selection～に収録されることになりましたのでお知らせします。

組曲「もうひとつの京都」ヴォーカルバージョンは、11月10日（火）に綾部市で開催の「海の京都 ミュージック・フェスティバル」において、葉加瀬太郎さん、森山良子さん出演のスペシャルステージによりライブ初披露されます。

今後、歌の力を借りた「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」のプロモーションを進め、「もうひとつの京都、行こう。」キャンペーンをさらに盛り上げてまいりますので、ご周知をよろしくお願いいたします。

「海の京都 ミュージック・フェスティバル」概要

日時：平成27年11月10日（火）18時30分開演（開場18時）

場所：中丹文化会館（綾部市里町久田21-20）

内容：葉加瀬太郎氏デビュー25周年記念コンサートツアーの一環として実施。
森山良子さんとのスペシャルステージにおいて、組曲「もうひとつの京都」ヴォーカルバージョンライブ初披露ほか
チケットは、8月22日から各プレイガイドで発売

「もうひとつの京都、行こう。」キャンペーン について

古都京都とは、ひと味違う京都の魅力をお伝えしようと、昨年11月から京都府が展開する音楽と映像によるキャンペーン。「お茶の京都」、「森の京都」、「海の京都」をテーマに、葉加瀬太郎氏が書き下ろした組曲「もうひとつの京都」に乗せ、ショートムービーを配信中。ショートムービーは合計再生回数約6万5千回、ショートショートフィルムフェスティバル&アジアの第四回観光映像大賞を受賞。

これまでに、府内各イベントでの上映や企業コラボでの楽曲活用、吹奏楽バージョンでの発信など、様々な事業を展開しています。

特設サイト：<http://www.pref.kyoto.jp/anotherkyoto/> または、「もうひとつの京都」で検索



もりやまりょうこ

<森山良子氏プロフィール>

1967年「この広い野原いっぱい」でデビュー。その後、ミリオンセラー「禁じられた恋」をはじめ、「涙そうそう」、「さとうきび畑」、「あなたが好きで」など、数々のヒット曲を生み出す。透明感のある歌声と歌唱力で、名実ともに日本のトップシンガーに。日本レコード大賞最優秀歌唱賞、金賞（「さとうきび畑」）、作詩賞（「涙そうそう」）を受賞し3冠を達成。

「芸術選奨 文部科学大臣賞」「第49回毎日芸術賞」「紫綬褒章」など受賞多数。

昭和63年に実施された京都国体において、作曲・歌唱森山良子氏による「光にむかって」が公式イメージソングとして採用されている。

まついごろう

<松井五郎氏プロフィール>

1981年チャゲ&飛鳥アルバム「熱風」で作詞家スタート。石川優子&チャゲ「ふたりの愛ランド」MIE「Never」、1985年安全地帯「悲しみにさよなら」など、数々のヒット曲を手掛け、1989年FNS歌謡祭最優秀作詞家賞受賞。1993年NHK忍たま乱太郎の主題歌として光GENJI「勇気100%」を発売。その後15年に渡り使用される。2007年の「拝啓、父上様」の主題歌で森山良子と出逢い、2008年長野市立長野高校校歌「翼あるもの」、2010年甲州市市民の歌「みのりの風 虹の丘」を森山良子氏作曲により制作。2009年、坂本冬美「また君に恋してる」で第51回レコード大賞優秀作品賞、2010年JASRAC賞の銅賞、第2回岩谷時子賞受賞。2012年「勇気100%」を歌い継いでいるSexyZoneのシングル「Ladyダイヤモンド」がオリコンチャート1位。



組曲「もうひとつの京都」

「茶かほる」

～「お茶の京都」のテーマ～

Song by 森山良子
Words by 松井五郎
Composed & Produced by 葉加瀬太郎
Arranged by 大島俊一

風のさえずり耳すまし
心の羽を広げれば
小枝を飛び立ち
青空 翔ける鳥になれる

緑の丘をどこまでも
続く茶畑のどこかで
優しい誰かの
笑顔が声をかけてくれる

いつでもどんなときも
言葉よりも
お茶が繋ぐ気持ち

静かにあふれている
時間の中に
荷物を解いて

風が誘う沢を抜けて
心の羽を休めれば
若葉の香りが
あなたを包み込んでくれる

神様の絵筆のように
雲がひとすじ浮かんでる
さあもうひとつの
物語がここにある
物語がいまここに

「懐かしの里山へ」

～「森の京都」のテーマ～

Song by 森山良子
Words by 松井五郎
Composed & Produced by 葉加瀬太郎
Arranged by 大島俊一

木洩れ陽の道を
光の実が空を埋める
微風(かぜ)にふれて香る緑
そっと時間(とき)が止まる

はじめて来たのに
すべてが懐かしい

川のせせらぎが
彩る蝶の羽根模様
きっと誰も遠い昔
この道を歩いた

かやぶきの屋根から
聴こえる声は
忘れかけていた歌を
教えてくれる

森はいつまでも
あなたを待っている

「天とつながる海」

～「海の京都」のテーマ～

Song by 森山良子
Words by 松井五郎
Composed & Produced by 葉加瀬太郎
Arranged by 大島俊一

打ち寄せる

波の調べ

砂と戯れ

季節を渡る

いにしへの

天(そら)へ繋がる

海は告げるでしょう

まだ旅は続くと

あゝ ここには

そう 時が満ちるから

海鳥が招く

羽音

船の轍が

岬を巡る

果てしない

空に誘われ

もうすぐ風は

ただ夢の語り部

夏を行く

澄んだ瞳

水平線を

かける光

あゝ 聴こえる

あの潮騒

あゝ 聴こえる

そう 胸の木霊が

いにしへの

天(そら)へ繋がる

海は告げるでしょう

まだ旅は続くと

岩の影

縁取って

夕陽は今

心を染める

いままでと

違う旅へ

さあ もうひとつ

次の街へ行きましょう

時を超えて

いますぐ

さあ 旅を続けて